

地方議会評価モデルの成果を活かすための 今後の取組について

令和5年4月12日

議会改革推進会議 委員長

評価モデル運営PJ チーフ

古川 仁

地方議会評価モデルの成果を活かすための進行管理の在り方については、主に新しい組織体制についての議論を、リーダー・サブリーダー会、及び代表者会を通じて議論を重ねてまいりました。

その議論の前提となっていた新しい組織体制の活動開始を、5月の議会構成に合わせる、つまり4月中に結論を出すことを目指してきましたが、議会日程上、その実現は大変厳しいことがわかってきました。

加えて、5月の導入を目指すとする、新しい組織体制についての議会全体での議論が充分でないままに進む恐れがあり、新しく設定されたスローガン、ビジョン、ミッションに基づく改革が、23人全員に共有されての改革となれるだろうか、という疑問も出てきました。

そこで、苦渋の選択として、5月の導入を目指さないことを、地方議会評価モデル運営プロジェクト、及びリーダー・サブリーダー会議にて確認をいたしました。

結果として、今少し時間をかけて新しい組織体制の議論を進めることとなりますが、今後の取組については、リーダー・サブリーダー会議の皆さんの経験や思いを大切に引き継ぐ中で、議会改革推進会議を中心とした議論を進めることといたします